

阿波市全庁評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	36	1	基本事務事業名	土成連絡送水管布設事業	事務事業名	土成連絡送水管布設事業	公的関与	3	シート作成日	令和1年7月12日	
	部局名	-		課名	水道課	主務課長名	藤野 芳大	シート作成者名	吉成 永吾			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成 24 年 ~	令和 2 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策	(1)水道の運営基盤の強化				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	水道法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(上水道加入者、土成地区)									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市場高区配水池から土成低区配水池を連絡管で結ぶことにより、水質の安定、水量の確保、施設の効率化等を目的とします。								
			今年度	継続して、土成連絡送水管布設工事を行います。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 測量設計											
	② 工事発注・監督											
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	最終目標				
	計画区間の施工率	施工済延長/計画区間延長(6,050m)	%	目標	60%	65%	80%	100%				
				実績	64%	72%						
				目標								
				実績								
				目標								
実績												
DO	予算費目	会 計	款	項	目	備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円							
		県支出金	千円	千円	千円							
		地方債	48,000 千円	28,300 千円	42,300 千円							
		その他特定財源	55,500 千円	29,600 千円	30,000 千円							
		一般財源	8,777 千円	1,522 千円	7,700 千円							
		計(A)	112,277 千円	59,422 千円	80,000 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.500 人	14,825 千円	2.500 人	14,513 千円	人	0 千円				
		臨時・嘱託職種										
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円				
全体事業費(A+B)		127,102 千円	73,935 千円	80,000 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	土成地区では台風等による吉野川の増水時に水質が安定しないため、水質の安定、水量の確保、施設の効率化等、生活の維持に必要不可欠な水道水を安定供給するため必要であります。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	市場高区配水池から土成低区配水池を連絡管で結ぶことにより、土成地区の40%の使用水量を賄うことができ災害時等に有効であります。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	目標設定に対して概ね達成していると思います。しかし、本工事は県道船戸切幡上板線に布設計画しているため、県との協議等により繰越しとなることがあります。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	県道船戸切幡上板線バイパス工事の整備計画に合わせ工事完了区間から順次、本工事を行うことにより、施工性及び経済性の面で有利となりコスト削減が見込めます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	県事業である県道船戸切幡上板線整備計画の進捗状況に影響されるため、県と協議を行い、歩調を合わせて工事を推進していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	事業計画を実行するため、県と協議をしながら事業が早期に完了する様に推進していく。					土成地区へ安定した水の供給が行えるよう、事業を計画的に進めています。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	36	基本事務事業名	配水給水管布設替事業	事務事業名	配水給水管布設替事業	公的関与	3	シート作成日	令和1年7月12日		
	部局名	-		課名	水道課	主務課長名	藤野 芳大		シート作成者名	吉成 永吾		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他		<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波			実施計画	事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(6)水道・排水処理の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成	年	~	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(1)水道の運営基盤の強化			<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	水道法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(上水道加入者)									
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	老朽管の布設替工事及び基幹管路においては、耐震管布設替工事を行うとともに、有収率の向上に努めます。								
			今年度	継続して、老朽管等の布設替工事を行います。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 測量設計											
	② 工事発注・監督											
	③ 漏水調査											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	最終目標			
	老朽化率	老朽管／水道管全延長		%	目標	18%	18%	18%	0%			
					実績	22%	25%					
	有収率	有収水量／配水量		%	目標	71%	72%	72%	80%			
					実績	70%	70%					
	耐震化率	耐震管／基幹管路		%	目標		31%	32%	100%			
実績					30%	31%						
DO	予算費目	会 計	款			項			目	備考		
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算						
		国庫支出金	千円		千円	千円						
		県支出金	千円		千円	千円						
		地方債	29,900 千円		28,900 千円	84,200 千円						
		その他特定財源	千円		千円	10,900 千円						
		一般財源	25,808 千円		2,736 千円	15,400 千円						
		計(A)	55,708 千円		31,636 千円	110,500 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.000 人	11,860 千円	2.000 人	11,610 千円	人	0 千円				
		臨時・嘱託職種										
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円				
	全体事業費(A+B)		67,568 千円		43,246 千円	110,500 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	老朽管延長が長いと、漏水が発生しやすく、有収率が悪くなります。また、漏水により事故が発生する恐れもあり、供給単価が低くなり、経営が悪化します。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	老朽管を布設替することにより、漏水を未然に防ぐことができます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	目標設定に対して概ね達成していると思います。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	老朽化の進んでいる管から布設替えることにより、効率性が上がります。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等					
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止						
	当面の課題	老朽化の進んでいる管の把握。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	事業計画を実行するため、老朽化の進んでいる管を管路図面から調査するとともに、漏水修理の状況も勘案しながら事業を進める。					有収率が向上するよう、事業を計画的に進めています。								
委員会指摘事項														